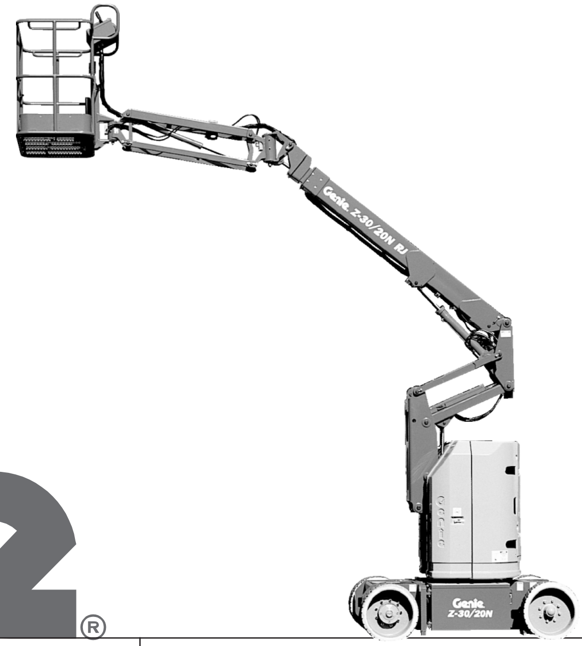


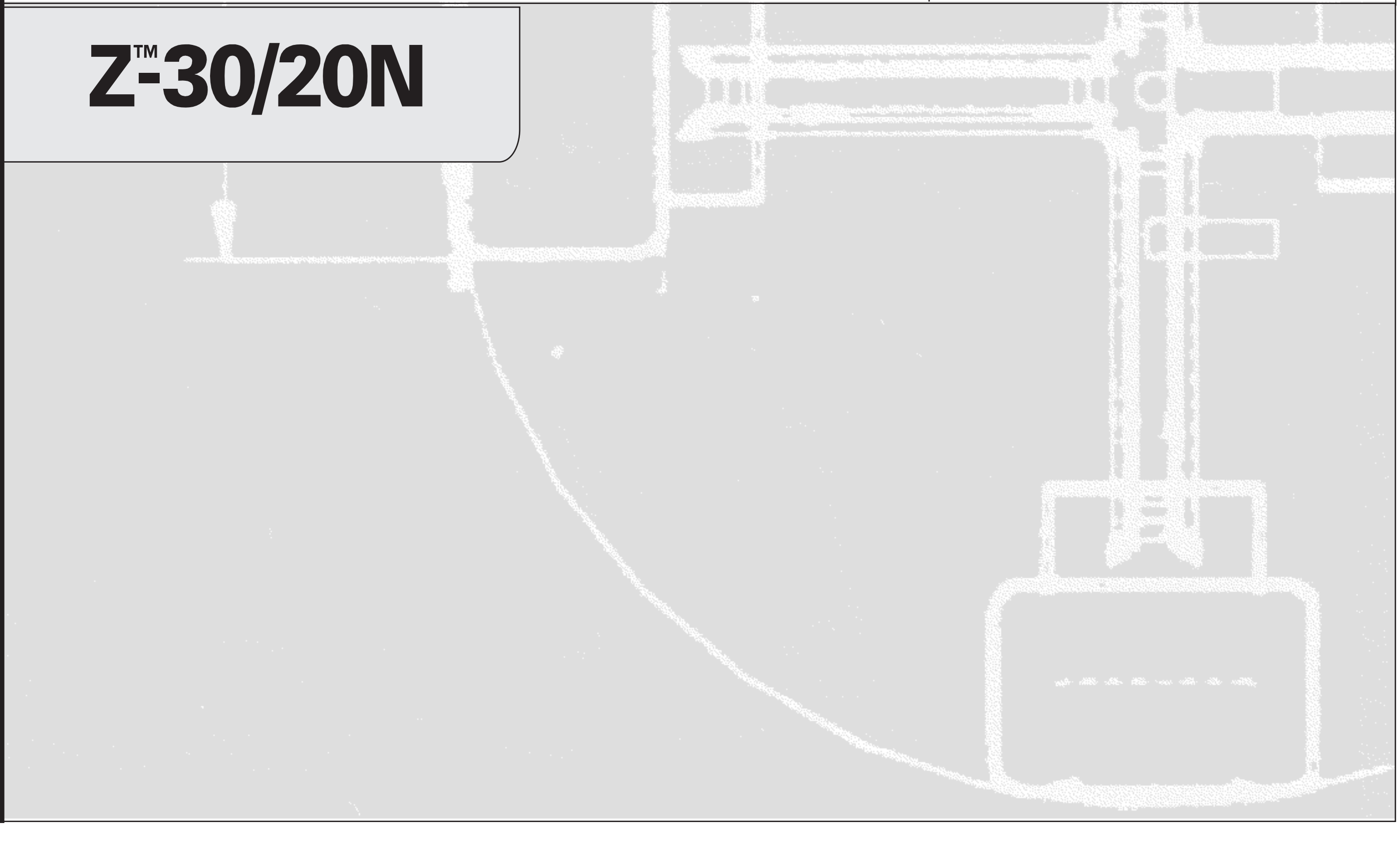
Genie®

操作説明書

安全説明付き

Second Edition
Fourth Printing
Part No. 43651JA

Z™-30/20N



重 要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。
トレーニングを受け認定された担当者のみ、機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目 次

頁

安全 1
操作 8
操作前の点検 10
管理確認 12
機能テスト 14
作業場の点検 19
操作手順 20
輸送 25
ステッカー 26
仕様 28

連 絡 先：

インターネット：http://www.genielift.com
E メール：techpub@genieind.com

Genie Industries

著作権 © 1995 Genie Industries

第一版：　第４刷　1996年8月
第二版：　第４刷　2000年7月

"Genie" と "Z" は、米国および他の多くの国において Genie Industries の商標として登録されています。

再生紙使用　L

Printed in U.S.A.

安全規則

危 険

死亡事故や大けががにつながりますので、本説明書の操作指示と安全規則に従ってください。

以下の項目に従って操作を行ってください。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1　**危険な状態を避ける。**

次のセクションに進む前に、安全規則を知り、理解する。

2　常に操作前の点検を行う。

3　使用する前に常に機能テストを行う。

4　作業場を点検する。

5　決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 下記をよく読み、理解し、従う：

製品使用説明書と安全規則 － 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカー

従業員の安全規則と作業場所の規制

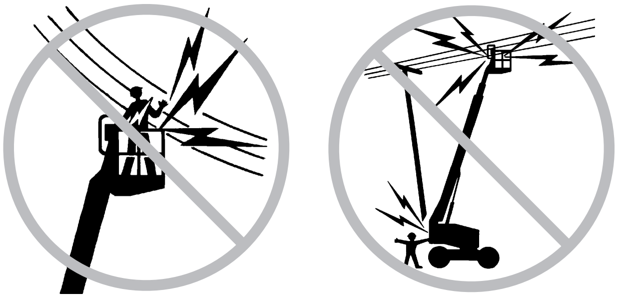
適用する行政の規則

☑ 安全な機械操作のための適切なトレーニングを受ける。

安全規則

感電の危険

この機械の電気は絶縁**されていない**ため、電流に接触したり近づくと危険です。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の最小の 接近距離 メートル
0 ～ 300V	接触を避けてください。
300V ～ 50KV	3.05
50KV ～ 200KV	4.60
200KV ～ 350KV	6.10
350KV ～ 500KV	7.62
500KV ～ 750KV	10.67
750KV ～ 1,000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の作業員は、通電している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

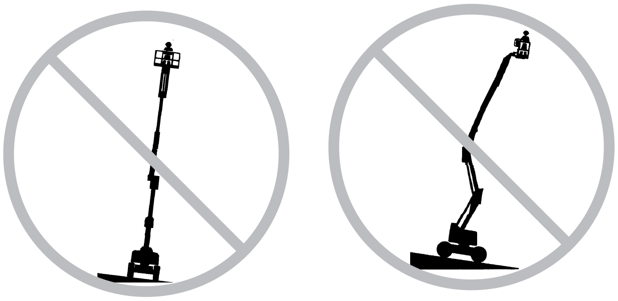
雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量を超えることはできません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2 名



機械を固い水平な地面に設置していない場合は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。

傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、上昇させないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。下げている途中でブームを旋回しないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

安全規則

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

主要ブームが上がっているか伸長している状態、あるいは補助ブームが上がっている状態で、時速１km以上で走行しないでください。

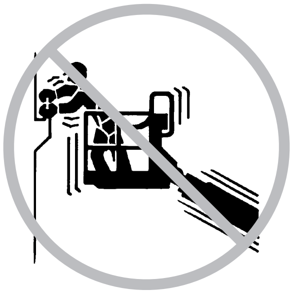
何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、作業員は全員作業台から降りてください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。

収納された位置から、平らでない、障害物のある、安定していない、または滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、またくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、もしくはその他のブームを上昇または伸張するには危険な状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

作業台の外の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大の側面許容圧力 – ANSI/CSA	667 N
最大の側面許容圧力 - CE	400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性や安定性に影響します。

機械の安定性に大きく関わる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。 道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りのシステムに取り付けると、作業台の重量や、作業台や積載床面の表面を増大させます。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

作業台にはしごや足場を組んだり、また立てかけたりしないでください。

機械を、移動中または移動する面、もしくは車両上で使用しないでください。

安全規則

タイヤの状態がすべて良好で、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されているため、機械の安定性維持に大きく影響します。各バッテリーの重さは 47.6kg で、バッテリーを入れたバッテリーボックスの重さは最低 240.4 kg でなければなりません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

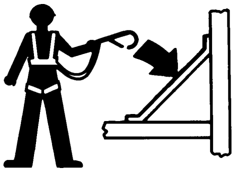
機械や他の物体を、ブームで押さないでください。

ブームを、近くの建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を、近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出さないようにしてください。

落下の危険



適用する行政の規制に従って、作業員は安全ベルトなどを着用してください。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

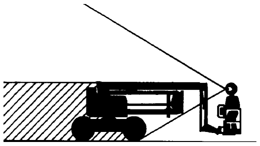
作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上ではしっかりと足場を確保してください。

作業台の上昇中は作業台から降りないでください。

作業台の床は常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

衝突の危険



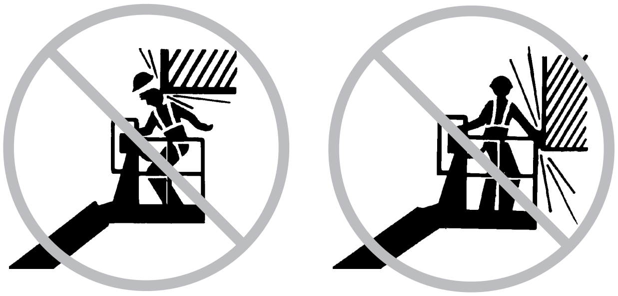
走行または操作中は、視界の限度や死角に留意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、機械が水平面に止めてあるか、もしくは固定されてなければなりません。

ブレーキを解除した状態で、機械を走行しないでください。 走行していないときに移動アラームが鳴った場合は、ブレーキが解除されています。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。

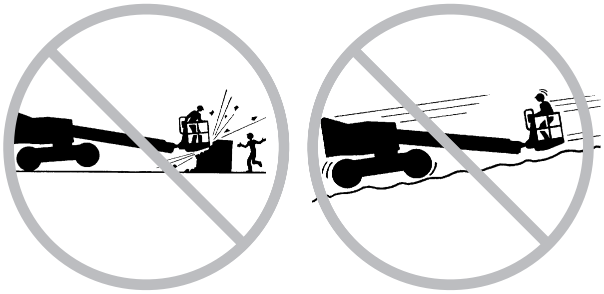


作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

機械の操作時に従業員は認可されたヘルメットを着用してください。

作業台操作および走行やステアリング機能の走行シャーシの色別方向矢印をよく見て、使用してください。

ブームの下に人がいないか、また障害物になるものがないかを確かめずに、作業台を下げないでください。



地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上で、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

安全規則

部品の損傷の危険

機械にアースを接地しないでください。

機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

シフトの前に、機器の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。故障もしくは誤作動している機械は、ただちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と Genie Z-30/20N **サービスマニュアル**に記載されているすべての安全規則を必ず守ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

オペレーターの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。オイルや空気漏れは、皮膚に付着したりやけどの原因になります。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、合図表記を使用しています。

安全警報信号ー作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡事故の危険を避けるためにすべての安全警告に従ってください。

危険 赤ー差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

警告 オレンジー危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

要注意 安全上の警告シンボルを伴った黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

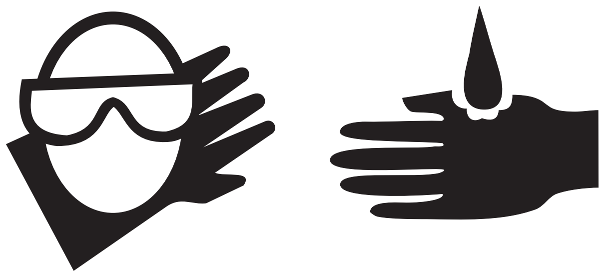
要注意 安全上の警告シンボルがない黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意 緑ー操作情報または安全情報を示します。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中和します。

バッテリーパックは常に直立した状態にしてください。

バッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどを近づけないでください。 バッテリーは爆発性ガスを放ちます。

バッテリーカバーは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

バッテリー端子やケーブルの留め金を、火花を放つ可能性のある道具と接触させないでください。

部品の損傷の危険

充電には 48 ボルト以上の充電器を使用しないでください。

両方のバッテリーパックは必ず一緒に充電してください。

バッテリーパックを取り外す前に、バッテリーパックプラグを外してください。

感電の危険

充電器を接地された AC 3 ピンコンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブル、ワイヤが破損していないかどうか毎日検査してください。破損しているものは操作の前に取り替えてください。

バッテリー端子との接触による感電を避けてください。指輪、時計、その他の貴金属をすべて外してください。

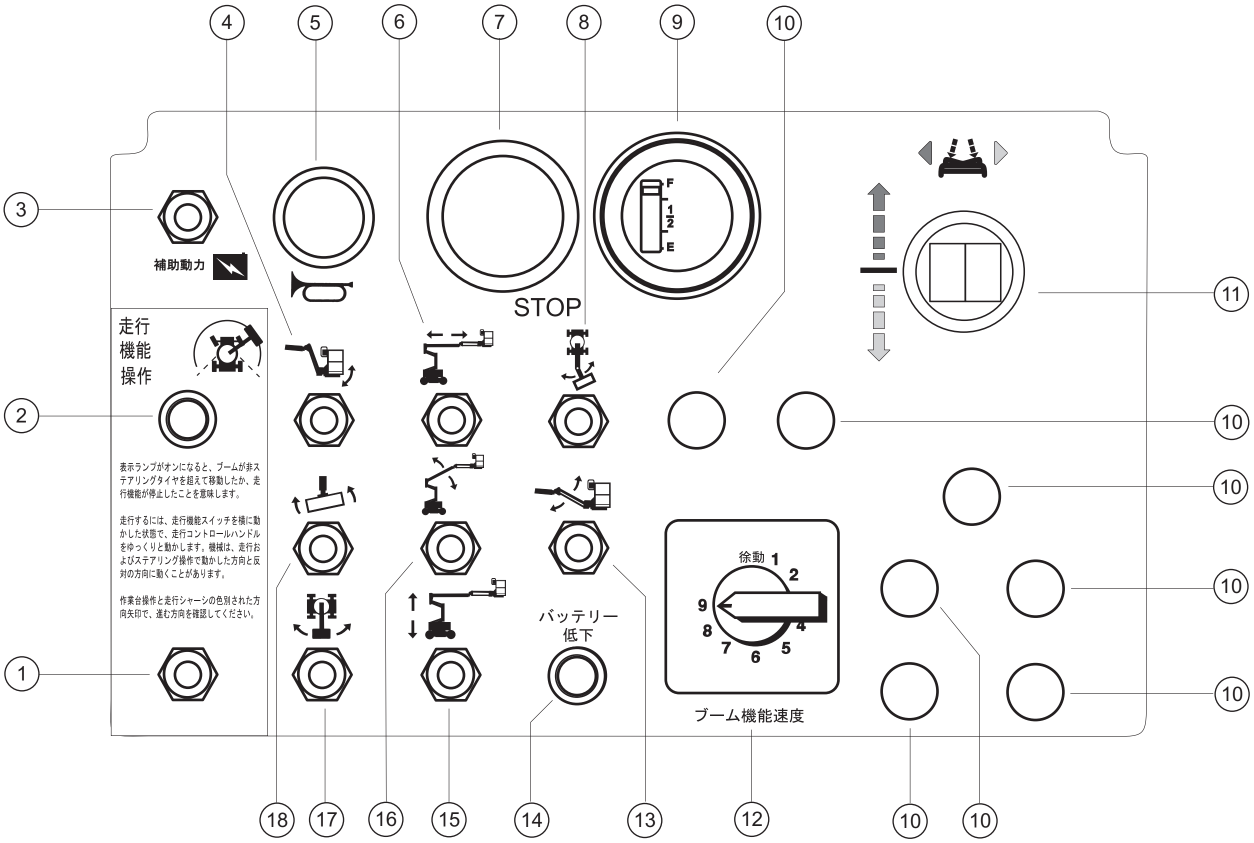
転倒の危険

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定維持に大きく影響します。それぞれのバッテリーの重さは 47.6 kg で、バッテリーを入れた各バッテリーボックスの重量は、最低 240.4 kg でなくてはなりません。

持ち上げる際の危険

バッテリーパックの取り外しや取り付けには、フォークリフトを使用してください。

操作



作業台操作パネル

1 走行機能スイッチ

2 走行機能表示ランプ

3 補助動力スイッチ

4 作業台レベルスイッチ

5 点検ホーンボタン

6 ブーム伸長/収縮スイッチ

7 非常停止ボタン

8 ジブ旋回スイッチ（オプション）

9 バッテリー充電表示器および低圧遮断（オプション）

10 未使用

11 走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー

12 ブーム機能速度コントローラー

13 ジブブーム上昇/下降スイッチ

14 バッテリー低下表示ランプ

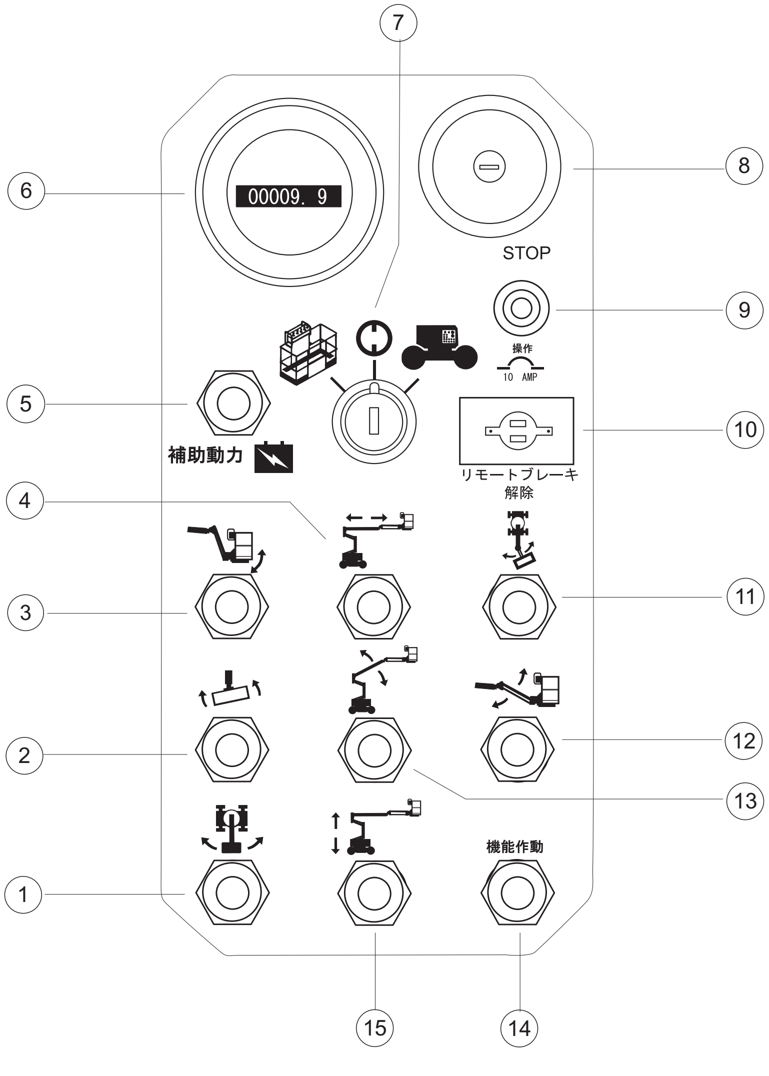
15 補助ブーム上昇/下降スイッチ

16 主要ブーム上昇/下降スイッチ

17 ターンテーブル旋回スイッチ

18 作業台回転スイッチ

操作



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 作業台回転スイッチ
3 作業台レベルスイッチ
4 ブーム伸長/収縮スイッチ
5 補助動力スイッチ
6 タイマー
7 作業台/OFF/地上 セレクトキースイッチ
8 非常停止ボタン
9 10A 電気回路ブレーカー
10 リモートブレーキ解除
11 ジブ旋回スイッチ（オプション）
12 ジブブーム上昇/下降スイッチ
13 補助ブーム上昇/下降スイッチ
14 機能スイッチ
15 主要ブーム上昇/下降スイッチ

操作前の点検

以下の項目に従って操作を行ってください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに移る前に上記事項をよく理解する。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の安全処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が交換されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にもう一度操作前の点検を行ってください。

定期的な安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置にあるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- オイル漏れがないこと、オイルが適量であることを確認してください。必要であればオイルを足してください。管理のセクションを参照してください。
- バッテリー液漏れがないこと、バッテリー液が適量であることを確認してください。必要であれば蒸留水をいれてください。管理のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていなかったりなくなっている部品がないかどうかをチェックしてください。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、ホース、取付部品、シリンダー、マニフォールド
- 走行、ターンテーブルモータとトルクハブ
- ブーム磨耗板
- タイヤとホイール
- リミット・スイッチと警報
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口中間レールまたはゲート
- アラームとビーコン（ついている場合）

機械全体をとおして下記をチェックしてください。

- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみと故障

- 機械を構成しているどの部品も欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。
- 両方のバッテリーパックが正しい位置に設置され、ラッチで留められ、正しく接続されていることを確認してください。
- 点検が終了した後、コンパートメントのカバーがしっかりとしめられ、ラッチで留められていることを確認してください。

管理

必ず従うこと：

☑ オペレータはこの説明書に記載されている、通常の安全確認のみ行います。

☑ 定期安全確認点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

安全確認記号の説明

注意 下のシンボルは、指示の意図を伝えるために使用されています。安全確認手順のはじめに１つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次を意味しています。

この手順を行うために、道具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

オイルの量の点検

オイルの量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとってきわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

1 ブームが収容位置にあることを確認し、油圧電力ユニット上の容器を目で見て点検してください。

⊙ 結果：オイルの量は、オイル容器の**満タン**と**追加**のマークの間を示していなければなりません。

オイルの仕様	
タイプ	Dexron またはそれに相当するオイル
容器容量	15 リットル
油圧システム（容器を含む）	23 リットル

バッテリーの点検

機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態であることが重要です。適切でない液量、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回線やライブ回線に触れると、大けがや死亡事故につながります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中和します。

注意 このテストはバッテリーの充電が終わってから行ってください。

1 保護服と保護用メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルが腐食していないか確認してください。

3 バッテリーの装着とケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

4 バッテリー通気孔のキャップをとってください。

5 バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

定期安全点検

定期安全点検は、本装置の安全操作トレーニングを受け認定された担当者が本説明書の手順にしたがって行わなければなりません。

下記の安全点検は、認定された人が記録および保存し、4 年間保管します。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

スケジュール

定期安全点検には5つのタイプがあり、スケジュールに従って、使用ごと、毎日、四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行うものがあります。それぞれの定期点検の内容に合わせて、**安全点検表**と**安全点検レポート**は 5 つのセクション（A、B、C、D、E）に分かれています。定期安全点検のどの手順を行うか、次の表を参考にしてください。

点検	表またはチェックリスト
使用ごともしくは 8 時間ごと	A
1 時間ごと、および四半期ごと。	A + B
1 年に 1 回	A + B + C
2 年に 1 回	A + B + C + D

安全点検レポート

安全点検レポートには、それぞれのタイプの定期安全点検のチェックリストが含まれます。

安全点検レポートをコピーして、各定期安全点検に利用してください。安全点検の書類はすべて3年間保存してください。

機能テスト

以下の項目に従って、操作を行ってください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストをよく理解する。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

1 テストは、障害物のない平らで安定した場所で行ってください。

地上操作時

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

⊙ 結果：ビーコンが点滅します。（ついている場合）

非常停止のテスト

4 赤い非常停止ボタンを押して**オフ**にします。

⊙ 結果：地上と作業台操作のいずれの機能も**作動しません**。

5 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

機能テスト

ブーム機能のテスト

6 機能作動スイッチを、ある一方に押したままにしないでください。ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。

⊙ 結果：ブームと作業台のいずれの機能も**作動しません。**

7 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したままにし、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下がっているときには下降アラームが鳴ります。（ついている場合）

作業台水平制御解除機能付きの機械：主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

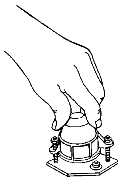
傾斜センサーのテスト

8 赤い地上非常ボタンを引いてオンにします。キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

9 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、機能マニホールドの横の傾斜センサーを見つけてください。

10 傾斜センサーの片側を下に押してください。

⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。



補助制御のテスト

11 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

12 補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させてください。

注意：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

13 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作時

非常停止テスト

14 赤い作業台非常停止ボタンを押して**オフ**にします。

⊙ 結果：作業台操作のいずれの機能も**作動しません。**

ホーンのテスト

15 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

16 点検ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

17 ペダルスイッチを踏まないでください。機械の各機能を作動してください。

⊙ 結果：機械の機能は**作動しません。**

機能テスト

機械機能のテスト

18 ペダルスイッチを踏んでください。

19 各機械機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：すべてのブームもしくは作業台機能がフルサイクルで作動します。

注意：ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度をコントロールしてください。走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

作業台水平制御解除機能付きの機械：主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリングのテスト

20 ペダルスイッチを踏んでください。

21 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果：ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

22 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果：ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行ブレーキのテスト

23 ペダルスイッチを押してください。

24 走行コントロールハンドルを、操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。

⊙ 結果：ブレーキ解除アラームが鳴ります。機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、不意に止まります。

25 走行コントロールハンドルを、操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。

⊙ 結果：ブレーキ解除アラームが鳴ります。機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、不意に止まります。

注意：機械が上れる斜面であればどこでも、ブレーキは機械を停止できるはずです。

機能テスト

制限走行速度のテスト

26 ペダルスイッチを踏んでください。

27 主要ブームを 30 cm 上げてください。

28 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：主要ブームが上昇した状態での最大走行速度は 0.3m/秒を超えないはずです。

29 ブームを収納位置まで下げてください。

30 補助ブームを 30 cm 上げてください。

31 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 0.3m/秒を超えないはずです。

32 ブームを収納位置まで下げてください。

33 主要ブームを 30 cm 伸長してください。

34 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：主要ブームを伸長した状態での最大走行速度は 0.3m/秒を超えないはずです。

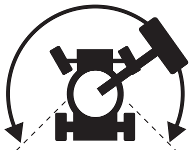
もし主要ブームが上昇もしくは伸長した状態あるいは補助ブームが上昇した状態で、走行速度が 0.3m/秒を超えた場合、ただちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

走行機能システムのテスト

35 ペダルスイッチを踏み、主要ブームを収納位置まで収縮してください。

36 ターンテーブルを、非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで旋回してください。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



37 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能は**作動しません**。

38 走行機能トグルスイッチを上か下にしたままで、走行コントロールハンドルをゆっくりと中止から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注意：走行機能システムが使用されているとき、機械は、走行およびステアリングコントロールハンドルが動かされた反対の方向に動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、進む方向を確認してください。

機能テスト

補助制御のテスト

39 ペダルスイッチを踏んでください。

40 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチの作動を試みてください。

注意：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⦿ 結果：すべてのブーム、ステアリング、および走行機能が作動します。

リフト/走行セレクト機能のテスト（ついている場合）

41 ペダルスイッチを踏んでください。

42 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⦿ 結果：ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

43 故障箇所はすべて、機械を操作する前に修理しておいてください。

作業場の点検

以下の項目に従って操作を行ってください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場の点検によって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを決定します。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行ってください。

オペレータは作業場で起こる可能性のある危険を認識し、機械の移動、セットアップ、運転時に気を配り危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態を認識し、避けてください。

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面の状態
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の存在
- その他起こる可能性のある危険な状態

操作手順

以下の項目に従って操作を行ってください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの義務です。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定されたオペレータのみ機械を操作することが許されています。２人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、それぞれのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの指示に従ってください。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行ってください。

非常停止

赤い非常停止ボタンを押して**オフ**の位置にし、すべての地上および作業台操作機能を停止してください。

非常停止ボタンが押されている状態で地上あるいは作業台操作から作動することができる機能は、修理してください。

作業台操作の非常停止ボタンが押されている状態で作業台から作動することができる機能は、修理してください。

地上操作が選択され操作されると、作業台の非常停止ボタンは無視されます。

補助制御

主要電源（エンジン）が停止した場合に、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏んでください。

4 補助動力スイッチを**オン**にしたまま、希望する機能を作動させてください。

ブーム、ステアリング、走行機能は、補助動力で作動します。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤い非常停止ボタンを引いて**オン**にします。

3 機械を操作する前に、両方のバッテリーパックが接続されていることを確認してください。

作業台を位置につける

1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにしてください。

2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は、地上操作では操作できません。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンを**オン**の位置にします。

3 機械を操作する前に、両方のバッテリーパックが接続されていることを確認してください。

作業台を位置につける

1 ブーム機能速度コントローラーを、希望する速度に設定してください。

注意：走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

2 ペダルスイッチを踏んでください。

3 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏んでください。

2 ステアリングホイールを走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、タイヤの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏んでください。

2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心からゆっくり動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。

停止する：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

走行コントローラーをセンターから移動すると、ブレーキ解除アラームが鳴ります。

注意：ターンテーブルが旋回し、ブームが非ステアリングタイヤを越えると、機械は、走行およびステアリングコントロールが動かされた反対の方向に動くことがあります。

ブームが上がった状態では走行スピードは制限されます。

バッテリーの状態は機械の性能に影響します。

走行機能

表示ランプが**オン**になると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチを上または下にしたままで、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

機械は、走行およびステアリングコントロールが動かされた方向と反対の方向に動くことがあります。

常に、作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

バッテリー低下表示ランプ

ランプの点滅は、バッテリー電力が低下し、バッテリーを充電する必要があることを示します。ブームを下げ、バッテリーを充電する位置まで移動するだけの電力は残されています。

ランプの点灯**オン**は、バッテリーが完全に放電したことを示します。ブームの使用をやめて、すぐにバッテリーを充電してください。

注意：低圧遮断オプション付きの機械は、バッテリーが完全に放電されると、主要および補助ブームのリフト機能が使用できなくなります。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ブームを収納位置まで下げてください。

3 ターンテーブルを、ブームが非ステアリングタイヤの間にくるように旋回させてください。

4 キースイッチを**オフ**の位置に回し、関係者以外による使用をさけるため、キーを取り外してください。

5 輪止めをかましてください。

6 バッテリーを充電します。

バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

☑ 外部充電池またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ バッテリーは換気のよい場所で充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie が承認するバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

1 バッテリーを充電する前にバッテリーが接続されていることを確認してください。

2 バッテリーコンパートメントを開けます。コンパートメントは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じて、プレートがかくれる程度に蒸留水を入れてください。充電の前には入れすぎないでください。

4 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

5 充電器を接地した AC 回路に接続してください。

6 充電器をオンにしてください。

7 バッテリーの充電が終わると充電池がそれを表示します。

8 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときに溢れないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れてください。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎますと、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中和します。

3 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときに溢れないようにしてください。

輸送手順

必ず従うこと：

☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは常識的な判断と計画をもって機械の動きをコントロールしてください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せるときは、輸送車両が動かないよう固定してください。

☑ 車両の容量、積載位置、チェーン、ストラップが機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。（仕様のセクションを参照してください。）

☑ ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。

輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定ください。

横に動くことを防止するため、ブームの端と作業台の間にある低い方の作業台マウントを使用してください。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンやストラップを使用してください。

輸送の前にキースイッチを**オフ**の位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

ウィンチ用のフリーホイール構成

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 トルクハブをひっくり返し、キャップを取り外して、非ステアリングタイヤブレーキを解除してください。（下記を参照してください。）

リモートブレーキスイッチがついている機械：
スイッチを地上コントロールボックスのアダプターに差し込んでください。機械をウィンチしているときは、リモートブレーキ解除スイッチを利用してください。

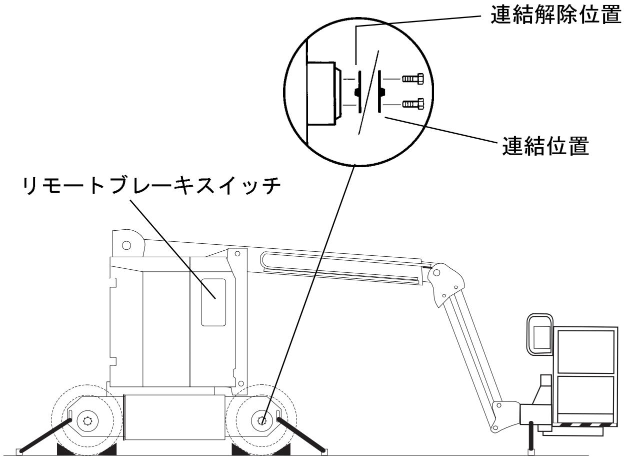
3 シャーシの荷締め箇所の移動のためにウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。

機械を載せたら：

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 トルクハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤブレーキを使用してください。（下記を参照してください。）

Genie Z-30/20N は牽引しないでください。どうしても牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。



ステッカー

ステッカーの点検

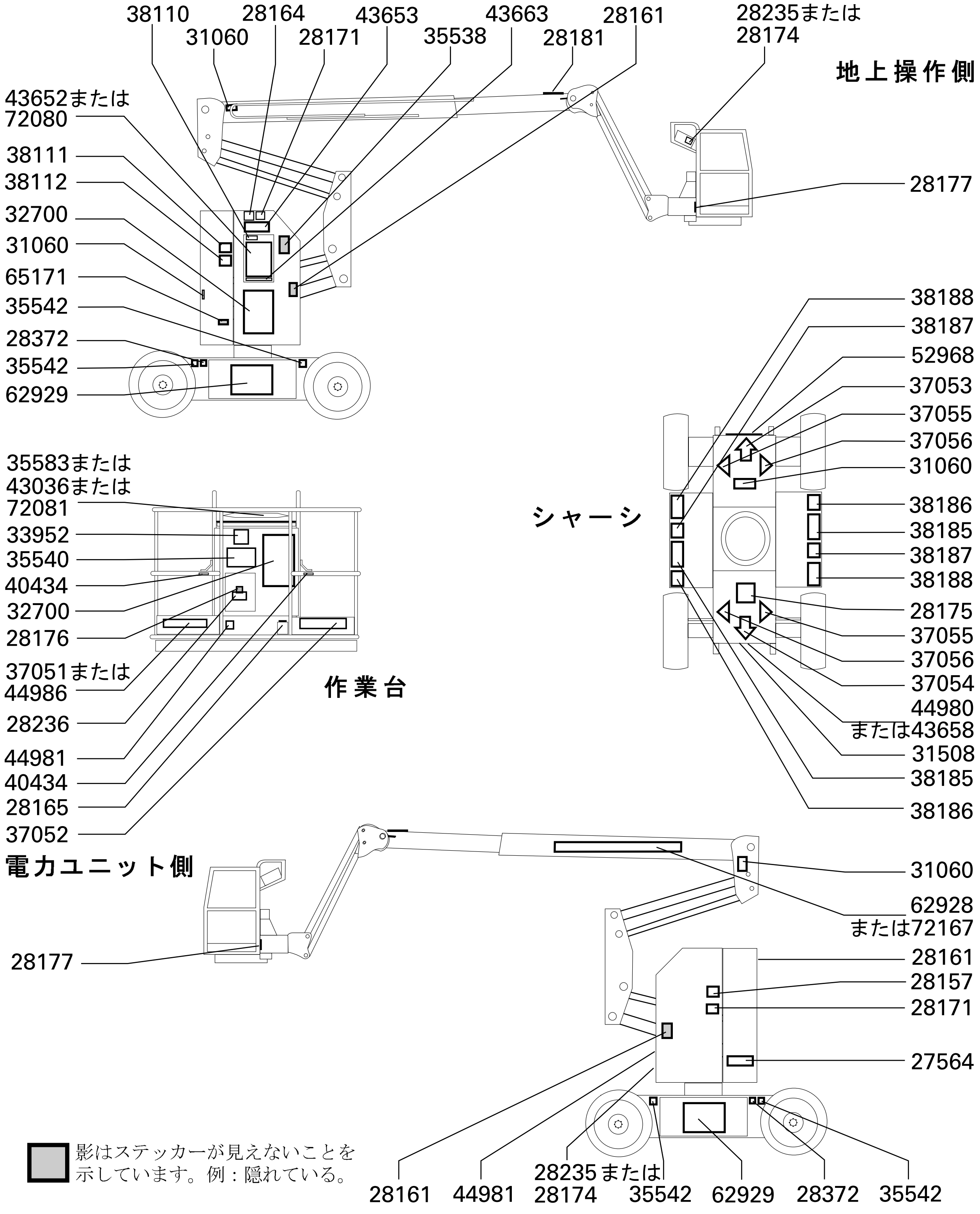
次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細のリストです。

品番	ステッカーの説明	数量
27564JA	危険 ー 感電の危険	2
28157JA	ラベル ー Dexron	1
28161JA	警告 ー 落下の危険	3
28164JA	注意 ー 危険機材	1
28165JA	注意 ー ペダルスイッチ	1
28171	ラベル ー 禁煙	2
28174JA	作業台への電源 230V	2
28175JA	要注意 ー コンパートメントへ触れない	1
28176JA	注意 ー 紛失したマニュアル	1
28177JA	警告 ー 圧死の危険、作業台	2
28181JA	警告 ー 落下の危険、ブーム	1
28235JA	作業台への電源 105V	2
28236JA	警告 ー 不適切な使用の危険、マニュアル	1
28372JA	要注意 ー 部品の損傷	2
31060JA	危険 ー 転倒の危険、リミットスイッチ	4
31508JA	注意 ー 充電器への電源	1
31785JA	注意 ー バッテリー充電の手順	2
31786JA	注意 ー バッテリー接続図	2
31787JA	危険 ー 転倒、バッテリー	2
31788JA	危険 ー バッテリー/充電器の安全	2
32700JA	危険 ー 安全規則	2
33952JA	危険 ー 転倒、傾斜アラーム	1
35538	シリアルプレート	1
35540JA	注意 ー 操作手順、作業台	1
35542JA	注意 ー ラグナット	4
35583JA	作業台操作パネル	1

品番	ステッカーの説明	数量
37051JA	注意 ー 最大の側面圧力 ー 667 N	1
37052JA	注意 ー 最大積載量 ー 227 kg	1
37053	矢印 ー 青	1
37054	矢印 ー 黄	1
37055	三角 ー 青	2
37056	三角 ー 黄	2
38110JA	ラベル ー 移動アラーム	1
38111JA	警告 ー ブレーキ解除	1
38112JA	要注意 ー 衝突の危険	1
40434JA	ラベル ー 荷締め用箇所	2
43036JA	作業台操作パネル	1
43652JA	地上操作パネル	1
43653JA	注意 ー 操作手順、地上	1
43658JA	充電器への電源 230V	1
43663JA	注意 ー 機能作動	1
44980JA	充電器への電源 115V	1
44981JA	作業台への空気管	2
44986JA	注意 ー 最大外圧 ー 400 N	1
52968	外装 ー Genie ブーム	1
62928	外装 ー Genie Z-30/20N	2
62929	化粧 ー Genie Z-30/20N	2
65171JA	ラベル ー 回路ブレーカーと、状態表示ランプ	1
72080JA	地上操作パネル	1
72081JA	作業台操作パネル	1
72167	外装 ー Genie Z-30/20N RJ	1

ステッカー


地上操作側
38110
28164
43653
43663
28161
28235または
28174
31060
28171
35538
28181
43652または
72080
38111
38112
32700
31060
65171
35542
28372
35542
62929
28177
シャーシ
38188
38187
52968
37053
37055
37056
31060
38186
38185
38187
38188
28175
37055
37056
37054
44980
または43658
31508
38185
38186
作業台
35583または
43036または
72081
33952
35540
40434
32700
28176
37051または
44986
28236
44981
40434
28165
37052
電力ユニット側
28177
31060
62928
または72167
28161
28157
28171
27564
28161
44981
28235または
28174
35542
62929
28372
35542
影はステッカーが見えないことを示しています。例：隠れている。

仕様

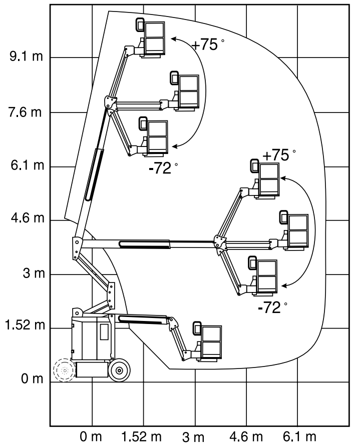
高さ、操作時 最大 － 旋回ジブなしのモデル	11 m
高さ、操作時 最大 － 旋回ジブ付きのモデル	10.7 m
高さ、作業台 最大 － 旋回ジブなしのモデル	9.1 m
高さ、作業台 最大 － 旋回ジブ付きのモデル	8.8 m
高さ、作業台収納時	2 m
水平リーチ最大長さ	6.4 m
幅	1.2 m
長さ、収納時 － 旋回ジブなしのモデル	5.1 m
長さ、収納時 － 旋回ジブ付きのモデル	5.3 m
最大積載荷重 117 cm 作業台	227 kg
ホイールベース	1.6 m
旋回半径（外径）	3.0 m
旋回半径（内径）	1.7 m
ターンテーブル回転	359 度
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0 度
電源	8 Group-L16, 6V 350AH バッテリー
制御	24V DC 比例
作業台寸法、 （長さ×幅）	117 cm×76 cm
作業台水準化	自己水準化
作業台回転	180 度
ジブ旋回（オプション）	200 度
作業台 AC コンセント	標準
油圧、最大 （ブーム機能）	193 バール
タイヤサイズ（ソリッド）	56×18×45 cm
登坂能力、収納時	25%

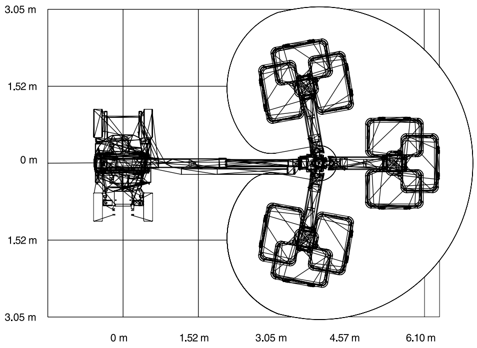
最低地上高さ	8.9 cm
油圧タンク容量	15 リットル
重量 － 旋回ジブなしのモデル	6,577 kg
重量 － モデル オプションの旋回ジブ付き	6,622 kg
騒音 通常作業の作業場での最大音量 （騒音レベル）	70 dB

走行速度

収納した状態での走行速度	0 ～ 5.3 km/時 12.2 m/8.2 秒
走行速度、 ブームが上がっている状態	0 ～ 1.0 km/時 12.2 m/40 秒

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。





代理店：

Genie North America
電話 425.881.1800
フリー USA and Canada
ダイヤル 800.536.1800
ファックス 425.883.3475

Genie Holland
電話 +31 70 51 78836
ファックス +31 70 51 13993

Genie Scandinavia
電話 +46 31 3409612
ファックス +46 31 3409613

Genie France
電話 +33 (0)2 37 26 09 99
ファックス +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberia
電話 +34 93 579 5042
ファックス +34 93 579 5059

Genie Germany
電話 +49 (0)4202 88520
ファックス +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
電話 +44 (0)1476 584333
ファックス +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
電話 +52 55 5666 5242
ファックス +52 55 5666 3241

Genie Australia Pty Ltd.
電話 +61 7 3375 1660
ファックス +61 7 3375 1002

Genie China
電話 +86 21 53852570
ファックス +86 21 53852569

Genie Malaysia
電話 +60 4 228 1235
ファックス +60 4 226 6872

Genie Japan
電話 +81 3 3453 6082
ファックス +81 3 3453 6083

Genie Korea
電話 +82 2 558 7267
ファックス +82 2 558 3910

Genie Africa
電話 +27 11 455 0373
ファックス +27 11 455 0355

Genie Latin America
電話 +55 11 4055 2499
ファックス +55 11 4043 1661